

編集方針

九州電力は、企業活動に伴い発生する環境影響とその低減への取り組み状況を多くの方々に知っていただくことが、企業としての社会的責任であり、環境活動を推進する上でも重要であると考え、1996年より、環境活動への取り組み状況を「環境アクションレポート」として公表しています。

【報告範囲】

対象組織：九州電力及び九州電力グループ会社
 対象期間：2006年4月1日～2007年3月31日
 （一部将来の活動予定を含んでいます。また、本レポート発行までの最新情報についても、重要な事項は可能な範囲で記載しています。）

【参考にしたガイドライン】

環境省「環境報告書ガイドライン」（2003年度版）
 環境省「環境報告ガイドライン」（2007年度版）（案）－中間報告－

【発行時期】

前回：2006年6月
 今回：2007年6月
 次回：2008年6月頃を予定しています。

レポートの信頼性向上

レポート記載内容の客観的な信頼性を確保するため、2002年から継続して、第三者機関による審査を受審しています。



また、本レポートは、環境情報の信頼性に関して、日本環境情報審査協会の定める「環境報告書審査・登録マーク付与規準」を満足していることを示す、「環境報告書審査・登録マーク」が付与されています。



コミュニケーションツールとしての充実

ステークホルダーの皆さまからいただいた主なご意見について、本レポートの関連ページにてご紹介（マーク）しています。

ステークホルダーのご意見（例）

なぜ、こういった取り組みをするのか詳しく知りたいです。
 （お答えまで）



【作成部署・お問い合わせ先】

九州電力株式会社 環境部環境経営グループ
 〒810-8720 福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号
 TEL：092-726-1531 FAX：092-761-7368

ごあいさつ	03
2007環境アクションレポートハイライト	07

環境経営の推進

環境経営の推進	15
事業活動と環境活動効果、負荷の状況	19
環境負荷の実績と目標	21
環境会計	23

環境活動への取り組み

地球環境問題への取り組み	25
循環型社会形成への取り組み	31
地域環境との共生	34
社会との協調	38

原子力関連情報

原子力関連情報	43
九電グループにおける環境経営	
環境経営の推進	49
環境活動への取り組み	53

環境活動への取り組みに対するご意見

九州電力環境顧問会	59
レポートの読者アンケート	61
お母さま方の環境意識	62
社員の環境意識	63
社外評価、社外表彰	64

第三者機関による環境アクションレポートの審査	65
環境を巡る歴史と九州電力のあゆみ	67

別冊【用語集】

【用語集】を Book in Book 方式で巻末に添付しています。レポートで使用した用語に加え、環境基本用語についても解説していますので、本冊子から切り離してご活用ください。



表紙写真 佐賀県・玄海町 浜野浦の棚田

起伏のある斜面地に、丹念に石を積み上げて作られた「棚田」。その複雑で美しい模様の中には、先人の自然に対する知恵と工夫が込められています。1999年、ここ佐賀県玄海町の「浜野浦の棚田」は、「日本棚田百選」に選ばれ、2007年には、NPO法人「地域活性化支援センター」が選ぶ、カップル向けのスポット「恋人の聖地」にも認定されています。

初夏の棚田：玄海原子力発電所員撮影
 夕日の棚田：佐賀県玄海町さまご提供